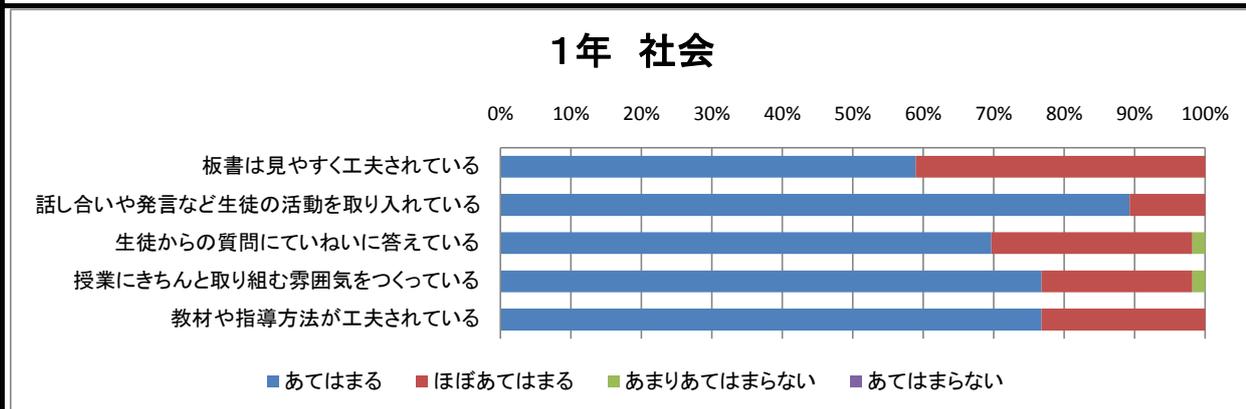


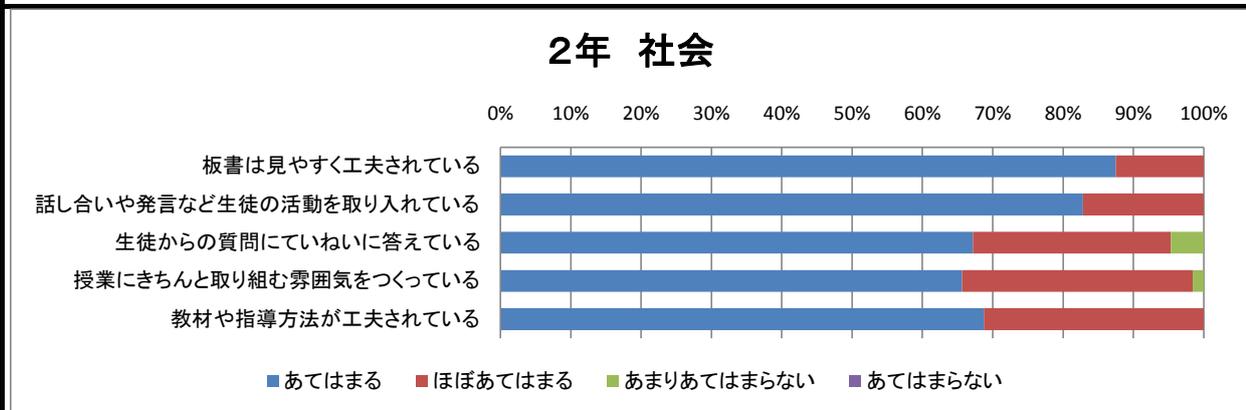
H30年度 第2学期 生徒授業評価アンケートより

教科	社会	重点目標	基本的な知識・理解を定着させ、思考力・表現力を高める授業づくり
----	-----------	------	---------------------------------

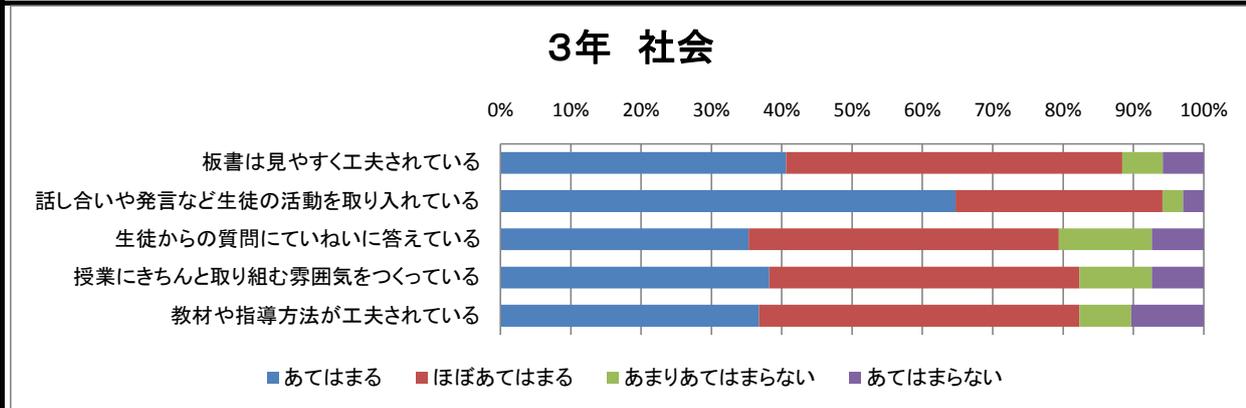
学習指導に関する現状と課題(二学期・生徒による授業評価アンケートより)



分析 1学期と比べると肯定的評価が増えた。ほとんどが肯定的評価というのは授業改善の1つの成果であると考えられる。板書を授業内ですることが少ないので、ほぼ当てはまるが多かった「板書を見やすく」という点は補足説明の際の板書だと考えられる。そのような点にも更に気をつけながら授業改善を行っていく必要がある。



分析 話し合い活動を積極的に取り入れようという試みから授業計画を立てているが、話し合い活動そのものをどのようにすれば良いのかということや授業者が理解しきれていないため、生徒主導の「やらせっぱなし」という状態が見られた。そのため、「授業」という雰囲気づくりに欠けたり、生徒個々の意見を汲み上げられていないという現状が見られたので、話し合い活動の授業内における位置づけと方法を再考する必要がある。



分析 どの項目も「あまり当てはまらない」や「当てはまらない」と答えた生徒がいるので、授業の工夫が必要と感じる。話し合い活動を取り入れたり、教材を工夫して授業を行っているが、生徒に浸透していないので生徒自身が「分かった」「楽しかった」と思える授業作りを行う必要がある。また、生徒からの質問に丁寧に答えたり、授業を行う上での雰囲気作りにも気を付けていきたいと思う。